

県立八戸聾学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション（県立特別支援学校の求められる役割、目指す学校像）
○ 一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。 ○ 家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。 ○ 幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。
スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な３つの方針）
【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】 次のような資質・能力を育成します。 ○ 社会の中で生きていくために必要な学力や生活習慣を育成します。 ○ 他者への思いやりや感謝の気持ち、協調して取り組む力を育成します。 ○ 様々な人と関わることのできるコミュニケーション力を育成します。 ○ 健康で安全な生活を送る力を育成します。 ○ 幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、聴覚障がい児への支援に貢献します。
【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】 次のような教育活動を実施します。 ○ 幼児児童生徒の実態や能力に応じた教育課程を編成します。 ○ ＩＣＴの活用や体験的な活動を通して、自ら課題解決の方法を考えることができるようになるための授業を行います。 ○ 集団の中で生活するために必要な社会性や生活習慣を指導します。 ○ 相手に応じてコミュニケーション手段を使い分けて自分の考えを表現したり、相手の考えを理解したりすることができるように指導します。 ○ 交流及び共同学習（学校間交流や居住地校交流）を通して、幼児教育施設、小・中学校、高等学校等と連携した指導を行います。

わくわくする学校

地域で活動する
幼児児童生徒

- ・健康で安全な学校生活
- ・授業の充実
- ・豊かな心とコミュニケーション
- ・貢献する学校
- ・時代のニーズに応じた教育
- ・働き方改革
- ・学校組織

スクールポリシーの実現

グラデュエーション・ポリシー

- 社会で生きるために必要な学力や生活習慣の育成
- 他者を思いやり、協調して取り組む力の育成
- コミュニケーション能力の育成
- 健康で安全な生活を送る力の育成
- 支援充実のための関係機関との連携

カリキュラム・ポリシー

- 幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の編成
- 自ら課題を解決するためのICT活用や体験活動の充実
- 集団の中で生活するために必要な社会性の育成
- 自分の考えを表現し、相手を理解するための指導の充実
- 交流及び共同学習による各学校との連携した指導の充実

連携した指導や支援

幼稚部

小学部

中学部

寄宿舎

聾学校の強みや良さを生かす

- ・教育相談による早期教育
- ・個に応じた丁寧な指導
- ・ゲストティーチャーによる授業
- ・ボランティアによる支援
- ・保護者の学校への協力
- ・寄宿舎の有効活用

聴覚障がい教育の専門性を生かす

- ・聴覚障がいに関する知識
- ・補聴器・人工内耳の知識
- ・補聴援助システムの知識・技能
- ・聴力検査の知識・技能
- ・話し方や聴くことに関する指導
- ・発音・発語に関する指導
- ・手話や指文字等の知識・技能
- ・言語の習得に関する指導